

かみ
自然の恵み・人のふれあい南アルプス邑

広報 はやかわ

令和2年

2020
5
No.667



下湯島の山王神社でシャクナゲが鮮やかに咲いています。



南アルプス
ユネスコエコパーク

平成26年にユネスコより指定を受けています。豊かな生態系や生物多様性を保全し文化・経済・社会的に持続可能な発展を目指します。



the most beautiful
villages
in japan

早川町は平成22年より日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

3月町議会定例会 一般質問

町政のここが知りたい

3月町議会定例会において、望月恒議員、近藤文男議員、米山久志議員が町の考え方や方針について、一般質問を行いました。その中から、質問と答弁を要約してお知らせします。

質問事項(要約) 望月 恒議員

平成28年に町が策定した「早川町公共施設等総合管理計画」について、厳しい財政状況の中で改修計画をどのように進めていくのか伺いたい。また、耐震補強工事未実施の施設の耐震化計画を伺いたい。

町長答弁

公共施設においては災害に耐えられるように、補修や建て替えを適切に見きわめて取り組んでまいります。総務課長答弁

財務シミュレーションによると

年後に25億円の資金不足となる結果です。この資金不足を解消するため、毎年の新規事業費を節約し、40年間で合計25億円を考え、施設の適正化や長寿命化を図り、維持管理に努めてまいります。

教育課長答弁

耐震補強工事未実施の公民館につ

いては、利用状況等を勘案し耐震化計画を進めてまいります。

質問事項(要約) 近藤 文男議員

①森林整備で生じる間伐材の搬出について、町ではどのように作業道の整備を進めていく予定か伺いたい。

町長答弁

作業道としてはもちろんのこと、都会の人が気軽に自然と触れ合えるような散策道としても活用できるように整備することを考えています。

振興課長答弁

令和2年度の森林整備事業としては葉袋地区の道路沿い箇所を予定しております。作業道の整備については、今後の課題として考えていきたいと思えます。

②森林環境譲与税等を利用して町独自の木材加工施設を設置することができれば間伐材の有効利用や都市との交流事業に活用できると考えるが町の見解を伺いたい。

町長答弁

今後、利用計画や予算も含めて十分検討していきたいと考えています。振興課長答弁

間伐材の活用については、当面は従来のように木工組合の活動を通じ、木製品の加工等を拡大していければと考えています。

質問事項(要約) 米山 久志議員

①雨畑ダム付近において災害が懸念される箇所がいくつかあるが、災害を未然に防ぐ計画について伺いたい。

町長答弁

国土交通省においては、山留めや砂防堰堤の整備に膨大な予算を費やしてくれていますが、その計画以上に自然災害が強すぎるというのが現状です。

振興課長答弁

雨畑ダムに特化した全体計画的なものはありませんが、本村バイパスのかさ上げ工事や奥沢橋付近の土砂を取り除く工事を行っております。また、国や県の各部署で危険箇所の対応、対策についてダム管理者に指導が行われているという状況です。②雨畑ダムの土砂堆積問題に関して、土砂を取り除く事業に国の助成措置は受けられないのか伺いたい。

振興課長答弁

都道府県が管理する治水目的のダムについては、令和2年度創設予定の総務省の緊急浚渫推進事業費助成の対象になるようですが、雨畑ダムについては、この制度の対象外になります。

今後、県や国に対し、引き続き問題の解決に向けて必要な要望等を行ってまいります。

令和2年度 区長さんを紹介

令和2年度の区長さんが決まりました。これから1年間、各区の代表として、町民の皆さんと役場のパイプ役としてご尽力をいただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。(敬称略)

本建地区

都川地区

- ▼小 縄 望月 明浩 ▼京ヶ島 京島 孝佳
- ▼高 住 望月 実 ▼草 塩 望月 一
- ▼赤 沢 向井 真行 ▼保 望月 佑之
- ▼五箇地区 ▼白 石 辻 光昭
- ▼薬 袋 森田 信宏 ▼黒 桂 池田 良
- ▼千須和 望月 進 ▼三里地区
- ▼やませみ 依田 淳 ▼早 川 早川 豊
- ▼樽 坪 望月 公隆 ▼塩 島 本 敏己
- ▼笹 走 内館 幸恵 ▼中 洲 小菅 増雄
- ▼塩之上 望月 勉 ▼新 倉 齊藤 通也
- ▼古 屋 望月 信保 ▼茂 倉 倉本 房男

硯島地区

西山地区

- ▼大 島 志村 勲成 ▼下湯島 中居 義正
- ▼久田子 望月 明晴 ▼上湯島 深沢 一比児
- ▼戸 川 望月 敏 ▼温 泉 佐藤 真司
- ▼馬 場 鈴木 宏記 ▼奈良田 鹿島 健利
- ▼老 平 天野 元
- ▼本 村 望月三千生

上流研1ヶ月情報

5月のアップデート

新型コロナウイルスの影響による社会波乱の中、新年度がスタートしました。日本上流文化圏研究所（以下、上流研）の設立が町の施策として位置づけられた、平成6年の新長期総合計画『日本・上流文化圏構想』の策定からちょうど四半世紀。経済最優先と、それに追従した東京一極集中を、私たち地方の多自然居住地域から真に見直し、地域づくりを通じて問い直していかなければなりません。くしくも本年度は、早川町が新たな総合計画の策定に向けて動き出す年で、私たち上流研も計画づくりに携わります。

この25年のあいだに、早川町には古くからの歴史ある事業者に加え、新たな『まちづくりプレイヤー』と呼べる事業者が数々誕生しました。それぞれの事業者同士の連携を生み出し、その連携を広げ深めることが、地域に求められる価値の創造につながるはずです。早川町観光協会事務局を担う上流研は、その中心的役割を果たさなければなりません。そのとき、これまで上流研で掘り起こし、記録してきた様々な地域情報や住民の記憶が、かけがえのない資源として活用できるものと確信しています。そうした活動理念を実現するため、この事業進捗については、本コーナーでこれまで通り、町民の皆さんにお伝えしていくこととなりますが、今

年度、雨畑にある「硯の里キャンプ場」の管理・運営業務を町から委託され、新たな事業として加わりました。

「硯の里キャンプ場」は、上流研でおこなってきた『森の探検隊キャンプ』事業の拠点として、町内外からたくさんの方々が利用してきた上流研としても思い出深い施設です。近年では、このキャンプ事業を卒業した子どもが里帰りし、ボランティアアスタップとして運営を下支えしてくれるようになりました。子どもたちにとつて早川を象徴する、確かな成長の場でもあったのです。これまでの場所を維持して下さった、前任の澤村夫妻に感謝申し上げます。

私たちは「日本・上流文化圏構想」にある通り、山と水とを守り続けた先人に学び、自然とともに生き、資源を大事にし、真に人間らしくくらすことができる地域の創造へと実質的につながる、重要な施設として、多くの人の、たくさんの方の想いの詰まった「硯の里キャンプ場」を、さらに成長させていきたいと思っています。それが、事業者同士の新たな連携を生み出すことにも寄与することでしょう。大切な施設の管理・運営を任せられた責務への重さを痛感するとともに、これからを見据えながら、職員一丸となって元氣よく確実に歩み出す所存です。どうぞよろしくお願いたします。

（事務局長若林一彦）

上流研1ヶ月の動き 上流研の活動のうち、主だったものをご紹介します。（～5月前半）

<p>集落支援事業</p>	<p>2019年度を振り返ると、石積みワークショップの発足、早川町への移住受け入れにつながる民家物件（空き家）リストの増加、奈良田集落に復活した盆踊りは難しい2年目を発展的に乗り越えることができ、走り抜けた1年でした。いい思い出とは言えませんが、台風19号も懐かしい。様々な取材にも対応し、早川町の発信力向上にも寄与できたと思います。既移住者の方や生え抜きの地元住民の方からも、相談が持ち込まれることも多くなりました。悲鳴をあげそうな日々もありましたが、嬉しい限りです。観光業に携わる人の多い早川町では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が心配です。本事業で力を入れている、町外者サポーターを巻き込んだ集落維持の取り組みも、次々と中止が決まっています。この状況を何とか乗り越え未来に向かうべく、一生懸命考え、体も動かし、できる限りを尽くしたいと思います。頑張りましょう。</p>
<p>奥山冥利サイト</p>	<p>町の暮らしに関心を持ち、実践する人を増やすためのサイト「奥山冥利」に新規10記事以上を公開しました。先人達の想いの結晶ともいえる大島の水路や町内の橋、また、乾物の知恵と技などです。サイトも改修し、より多くの方に活用していただけるよう進めています。どうぞご覧ください。</p>
<p>そば処アルプス</p>	<p>今年度より、定休日を木曜日と金曜日に変更いたしました。（祝日の場合は営業いたします）。どうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>早川町観光協会</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、案内所に立ち寄られるお客様が少なくなっています。こんなときだからこそ、SNSを活用し早川町の魅力を発信していきたいと思っています。観光協会ではホームページ、フェイスブック、インスタグラムを運営していますので、ぜひご覧ください。</p>

お 知 ら せ



はやかわ地域おこし協力隊通信 ⑨

こんにちは。今年もまた一年、NPO法人早川エコファームにてお世話になります、大木彩（おおきあや）と申します。地域おこし協力隊としては、3年目。最終年度を迎えます。しっかり事業を成立できるよう、気持ちも新たに再スタート！と意気込んでいた矢先。途方も無い、新型コロナウイルスの恐怖が、あっという間に世界を飲み込んでしまいましたね。

実家がある東京都墨田区のほうでは、スーパーなどでも入場規制がかかり、野菜の値段も高騰している、なんていう話を聞いて心配が絶えません。

幸い私が住まわせてもらっている早川町は、水も空気もきれいで、人口密度も高くない。毎日安心して深呼吸できる環境に、感謝しながら過ごしています。少しでも早い収束を願い、自分にできることを探しながら、行動していけたらと強く思う日々です。

さて年度も変わったところで改めまして、早川エコファームの取り組みを簡単に紹介させていただきます。主に3つの事業を動かしています。

- ①直売所「おばあちゃんたちの店」の運営
- ②生き物いっぱい農園の管理
- ③楽農体験の受け入れ・案内 です。

①のおばあちゃんたちの店では、地元で生産された特産品を中心にお預かりして、販売させていただいています。お野菜はもちろん、山菜類も賑やかになってきました。そして！写真で

私が着用しているマスクは、奈良田の女の子が手作りしているもので、最近のNO.1売れ筋商品です。他、お散歩がてら立ち寄ってくださるおばあちゃんたちのリクエストにお応えして、おやつやアイスクリームなんかも置いていて、プチコンビニのようにも使ってもらっています。

③は、都市住民を中心に集客していたため、大々的なイベント自粛期間中は実施を控えています。それでも①の畑づくりは、人が来られるようになるまで決して待ってくれません！耕耘、種まき、植え付け等々に追われる日々でございます。とはいえやっぱり、お花や新緑が綺麗なこの季節。早川の魅力が最大限に感じられる野外空間で、地元の諸先輩方にたくさん教わりつつ、未熟ながらも少しずつ取り組んでまいります。

騒動が収束したのち、早川を訪れてくださるお客様を、笑顔でお迎えできるように、予防を徹底しながら、着実に準備を進めていきたいものです。

みなさまもどうか、お身体を大切に。それでは、また。

○お問い合わせ

NPO法人早川エコファーム

「おばあちゃんたちの店」事務局

電話 0556-48-2817

メール info@eco-farm.or.jp

(10:00~16:00、定休日:火・水・木曜日)



お 知 ら せ



高次脳機能障害サテライト相談窓口開設のお知らせ

山梨県高次脳機能障害者支援センターでは、高次脳機能障害（脳卒中や交通事故などにより現れる記憶低下や集中困難など後天的な認知面の障害）のある方やご家族の相談に応じ、地域で安心して暮らせるように関係機関と連携して支援を行います。センターは県内に1か所であるため、県内4か所にサテライト相談窓口を開設し、『ミニ講座』と『相談会』を行います。相談日と会場はセンターホームページでご確認いただくか電話でお問い合わせください。相談会は、事前にご予約をいただくとスムーズです。

日 程：令和2年6月17日（水）

13：45～ 受付
 14：00～14：30 高次脳機能障害に関するミニ講座
 14：30～14：40 休憩・相談会準備
 14：40～16：00 相談会

場 所：南巨摩合同庁舎 3階 大会議室（南巨摩郡富士川町鰺沢771-2）

【問い合わせ先】

山梨県高次脳機能障害者支援センター

山梨県笛吹市石和町四日市場2031（甲州リハビリテーション病院内）

電話：055-262-3121

FAX：055-262-3727

Eメール：koshu.hbd@krg.ne.jp

URL：<https://www.krg.ne.jp/rehabili/koujinou.html>

（会場に関することは、峡南保健福祉事務所 福祉課 0556-22-8145 までご連絡ください）

横断歩道一礼（いちれい）事故0（じこれい）運動！

南部警察署では、『横断歩道 一礼（いちれい） 事故0（じこれい）』運動を推進しています。

この運動は、歩行者は横断歩道で止まってくれた車のドライバーに「ありがとう」と一礼をし、ドライバーも「どういたしまして」と一礼をする運動です。

管内の小学校・中学校や高齢者への交通安全教室、事業所での講話などの際にこの運動の推進をお願いしています。

地域の皆様も、この運動にご理解をいただき、地域ぐるみで『横断歩道一礼（いちれい）事故0（じこれい）』運動に参加して下さい。

南部町、身延町、早川町から、悲惨な交通事故が1件でも少なくなるよう、お互いを思いやる気持ちを持ち、ゆとりをもった行動を心掛けましょう。

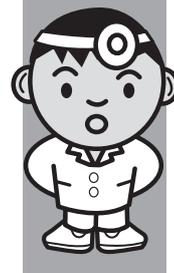
**横断歩道
一礼（いちれい）
事故0（じこれい）
運動！**

ありがとう！

- ・ 道路を横断する時は横断歩道を渡りましょう
- ・ 歩行者、ドライバーとも、お互いに思いやり、「ありがとう」「どういたしまして」の気持ちを、一礼で伝え合しましょう

南部警察署

保健の窓



今、「医療」について考えてみませんか？

連日、新型コロナウイルス感染症に関するニュースが取り上げられています。先が見えない状況に不安を感じられる方も多いのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るう今、懸念されるのが医療崩壊です。以前から医療現場は忙しく、特に医師の長時間勤務が問題になっていました。ですが、今の医療関係者はそんなことを言っていないほど、過酷を極めていきます。

新型コロナウイルスの最前線で働く、医療関係者に感謝と敬意を

この動きがヨーロッパやアメリカで広がっていることをご存知ですか？【クラップ・フォー・ケアラーズ（医療従事者らへ拍手を）】と言うもので、最前線で働く医療関係者に感謝と敬意の気持ちを表す取り

組みです。日本でも、医療や福祉関係者に拍手を送る取り組みが、福岡市や茨城県庁で始まりました。

医療に関する

「○○の日」

医療現場に注目が集まる中、ふと疑問に思い、医療に関する記念日やイベントを調べてみました。

●5月12日【看護の日】

近代看護を築いたフローレンスナイチンゲールの誕生日にちなみ、制定されました。国際看護師協会は、この日を「国際看護師の日」に定めています。

●10月17日～23日【薬と健康の週間】

医薬品を正しく使用することの大切さなど、国民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的に、日本薬剤師会により制定されました。

●11月1日【いい医療の日】

日本医師会の創立記念日

に制定されました。国民と医師とが共に考えながら、更なる国民医療の向上に寄与していくことを目的としています。

●11月8日【いい歯の日】

日本歯科医師会が制定しました。他にも、4月18日（よい歯の日）、6月4日からの1週間（歯と口の健康週間）として、口腔の健康維持や異常の早期発見・早期治療に向けた国民への啓発活動をしています。

●11月11日【臨床検査の日】

臨床検査振興協議会は、臨床検査が病気の早期発見や早期治療につながる有用なものであることを国民に広く伝えるため、制定しました。

ご紹介したのは一部ですが、このような医療関係の記念日や週間がありました。こうしたイベントは、私たちの生活の中で、多くが知らずに通り過ぎてしまうものでしょう。しかし、こうした「○○の日」や「○○週間」のときには、自分の身体だけでなく、私たちの健康や命を支えてくれる医療関係者に思いを馳せるのも大切なことだと、今、

感じています。

医療現場を医療崩壊から救うために

「医療崩壊は感染者の多い他県の話」だと思わないでください。高度医療を提議できる山梨県内の医療機関は限られていますし、感染症に特化した病床も限られています。

【自分自身を感染から守り、感染しないこと】が、何よりも医療崩壊を防ぐことにつながります。

『不要不急の外出はしない』『密室・密集・密接を避ける』『こまめに手洗い・うがいをする』『塩素系洗剤を使って拭き掃除をする』など、一人ひとりが、自分ができる感染症予防を心がけ、蔓延防止に力を貸してほしいと思います。

＜引用・参考文献＞

- ①日本看護協会HP
- ②日本薬剤師会HP
- ③日本医師会HP
- ④日本歯科医師HP
- ⑤臨床検査振興協議会HP

佐野裕理 保健師

『緊急事態措置相談ダイヤル』設置について

新型コロナウイルスにおける国の非常事態宣言を受け、緊急事態措置を実施するに当たり、県民や事業者の質問等に関する相談に対応するため、新たに『緊急事態措置相談ダイヤル』が、県に設置されました。

■開設時期：令和2年4月20日（月）から

■受付時間：午前8時30分から午後7時まで（土・日・休日含む）

■電話番号：055-223-1778

※新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口はこれまでどおりです。

○新型コロナウイルス感染症専用相談ダイヤル 055-223-8896

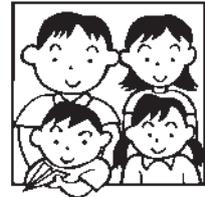
○帰国者・接触者相談窓口（峡南保健所）0556-22-8158

ふれあいひろば



「こいのぼり」

南保育所 もちづき ことろう さん



こどもの
せかい

おのまぐなうたらら
みんなをまもるヒーローに
なりたいです。

町民文芸一俳句

早川町二十日会

じいば
爺婆の二日がかりの雛飾り

早川 俊英

手の平に載せて転がす種の数

早川 和子

え
選りすぐり友に分けたり初蕨

保坂 紀惠

予定表塗りつぶされて弥生尽

長谷川 縫子

山椒の芽摘み来し夫の遠出かな

望月 和枝

距離保ち世間話や山笑ふ

望月 眞智子

公園に遊ぶ子は無し桜咲く

柴田 彩子

花の丘より一望の旧き村

諏訪 恭市

保地内公衆トイレが新しくなりました

テニスコート前に設置されていたトイレは老朽化に伴い閉鎖され、新しいトイレがふれあい公園内に完成し、4月1日より供用開始となりました。

これは令和元年度富士の国やまなし観光振興施設整備補助金を活用し整備したものです。

皆さんがいつでも快適に使用できるように、マナーを守ってご利用くださいますようお願いいたします。

お問合せ先 役場振興課振興・観光担当

0556-45-2516



まの話題



ご入学・ご入園おめでとうございます。



早川中学校



早川南保育所



早川南小学校



早川北小学校

4月3日、南保育所において入園式が行われました。6日には早川南小学校、早川北小学校および早川中学校において入学式が行われました。新入生はこれからの新生活に胸を躍らせていました。

こんにちはは町長です

新型コロナウイルスの感染は、止まるところを知らず拡大する一方です。

国、全国にも遅ればせながら緊急事態宣言が発令されて、政府をはじめあらゆる分野での行政が沈静化に向かつて取り組んでいるわけですが、先の見えない状況がいつまで続くか不安は募るばかりです。

思うことは、すべての国民が他人事と思わず冷静に対処することが今一番大事な時だと思えます。こうした事態の中で、様々な問題が台頭してきて、平常時に見えない難題に直面していると思えます。

医療問題一つを見るに、全国規模で不測の事態に陥っています。まず感染の予防体制から病院の患者の受け入れ態勢の不足、医療施設や備品、設備不足等々、医療崩壊の危機に直面しています。国民の健康を優先する医療先進国と言えるには程遠い姿が露呈されています。

こうした中で、国は、国民に真っ先に何を訴え、理解と協力を求めるには何をすべきか、そして、その先の目標を示さなければならぬ決断が、初動から後手後手に回り国民に不安と不信を募らせている姿には残念としか言いようがありません。

この際、国とは何か、国と地方自治の関係、国と自治体の責任、経済と暮らしの問題、国難に立ち向かう人々の安心安全な生き方など、その上、私たちがこの機会に自分たちの生き方を考えてみる必要があるような気がいたします。これまで国は長いことものづくり、経済優先を追い求めてきた国の在り方を考え直さなくてはならないところに来ていいると思えます。

この度の問題こそ、まず人命優先、感染予防から収束こそが何よりも最優先課題です。国を挙げてこれを乗り切らねばなりません。一日も早い終息に向かつて、みんなが勇気をもってコロナウイルスに立ち向かっていきましょう。

人の動き 人口1,024人 男507人 女517人 世帯数604戸 (5月1日現在)